

令和7年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(岡部西小学校)

平均正答率

1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			算数		
学年	小4	小5	小6	小4	小5	小6
岡部西小	下回った	上回った	下回った	上回った	上回った	下回った
埼玉県	52.5	62.8	59.3	66.2	48.3	52.4

2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			算数		
学年	小4	小5	小6	小4	小5	小6
岡部西小	5-C	6-A	6-A	5-B	5-A	6-C
埼玉県	5-B	6-B	7-C	4-A	5-B	6-C

3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			算数		
学年	小4	小5	小6	小4	小5	小6
岡部西小		3	1		2	1
埼玉県		3	2		2	2

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

		小4		小5		小6	
質 問 事 項		岡部西	埼玉県	岡部西	埼玉県	岡部西	埼玉県
深谷の子6つの誓い	・将来の夢や目標をもっている	85.7	90.6	95.3	88.5	94.1	83.9
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	64.3	78.6	72.1	77.0	93.9	77.4
	・自分からはっきり挨拶をすることができている	71.4	81.5	90.7	82.0	90.9	84.5
	・脱いだはき物のかかとをそろえることができている	75.0	77.8	88.4	80.7	84.8	87.4
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができている	92.8	85.5	90.7	86.9	93.9	89.4
	・勉強するときは、最初に計画を立ててから始める	75.0	54.2	65.2	49.2	51.5	51.6
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	46.4	52.8	65.2	54.0	66.7	53.9
学習等への関心	・授業で学んだことを、日常の生活に生かせると感じた	82.1	75.6	88.4	76.0	81.8	77.5
	・将来どの学校まで進みたいと思うか【大学以上の割合】	21.5	36.6	39.6	36.4	36.4	40.0
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	53.6	73.5	65.1	70.5	91.1	66.5
授業について	・授業を通して学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思った	85.7	78.6	86.0	74.1	81.8	69.0
	・課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをもてるようになった	82.1	75.9	95.4	79.8	81.8	80.3
	・国語や算数の授業で、週1～2回程度以上タブレットを使っていた(2項目の平均として)	48.2	45.1	57.0	48.9	62.1	57.1
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	7.1	21.6	48.9	24.5	30.3	23.4
その他	・学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた	100	94.2	97.7	94.8	97.0	94.8
	・学校の友達らは自分のよいところを認めてくれた	71.4	85.3	93.1	90.0	100	92.5
	・学級での生活は楽しい	92.8	94.5	97.7	92.8	97.0	92.3

【質問紙分析】

- ・ 深谷の子6つの誓いに関する内容では、21項目（7項目×3学年）中15項目で県平均を上回る結果であった。
- ・ 「授業を通して学んだ内容について、詳しく知りたい、学びたいと思った」では、81.8～95.4%であり、勉強には楽しさよりも進学や就職など将来を見据えた有用性を感じている児童が多く、意欲的に学ぼうとしている児童が多いといえる。

伸びが見られた学級・教科での取組

【学級】

- ・ 平均正答率が高かった学級の児童は、基本的な生活規律や学習規律が整っていて、授業中の「聞く」「話す」「読む」「書く」「考える」など、学習活動一つ一つに落ち着いて取り組み、日々の努力を積み重ねてきた結果だと考えられる。
- ・ 平均正答率が高かった学級では、前年度の全国や県学力・学習状況調査の考察で挙げた課題への対策を意識し、授業改善に取り組んだ結果だと考えられる。

【国語】

- ・ 伸びが見られた学年では、県が出している復習プリントやコバトンプリントを家庭学習や隙間時間に取り組ませたり、毎月行っている学力向上プロジェクトで、正答率の低かった問題を、その月だけでなく、一年を通してくり返し復習し、似たような問題を印刷し補充的に取り組ませたりすることで定着を図った結果だと考えられる。
- ・ 伸びが見られた学級では、週に一度、必ず図書室へ行き本を借りる時間を取り、本を楽しみながら読む過程で、語彙力に加え、自然と読解力が育まれたと考えられる。

【算数】

- ・ 伸びが見られた学級では、文章問題では、まず「聞かれていること」をはっきりさせ、それ上で「わかっていること」を確認するなど、解き方を習慣的に指導することで、問題を効率よく解いていける力を育ててきた結果だと考えられる。
- ・ 伸びが見られた学級では、つまずきやすい単元や問題を把握し、補充プリントを印刷して、くり返し問題に触れさせるなどの対策を講じた結果だと考えられる。

一人一人をより伸ばすための取組

- ・ 国語、算数で授業展開の型（岡西スタンダード）の作成と、ノートの使い方を校内で統一することにより、教員の経験年数による指導力の差を小さくするとともに、児童にも学び方がわかり、見通しをもって学習に取り組めるようにしている。
- ・ 国語では、業前活動で、校長講話等を活用した条件作文や文法、慣用句、熟語など言葉の構成や使い方など基本的な問題への取組、朝のスピーチやコラム学習での言葉や文章で表現する機会の設定など、個々の基本的な学力の確実な定着を図っている。
- ・ 算数では、1年生では計算カード（加減）、2年生でかけ算九九、3年生で百ます計算の目標タイムを設定し、タイムをクリアできるよう継続的に取り組むことで、個々の確実な計算力の向上を図っている。
- ・ 算数では、学習内容の個々の理解度を把握し、習熟度別の少人数指導を活用した、習熟の度合いに合わせた個への指導を徹底することで、児童一人一人の確実な学力の定着を図っている。